

H23 台風12号の河道閉塞で活躍した機械

分解型バックホウ (1.0m³, 遠隔操縦式)

災害現場へ空輸でき、無人化施工が可能です。

災害により道路が寸断、制限がされた現場にバックホウを分解し空輸・陸送が可能です。ラジコン操作にて安全な場所から災害復旧を行います。カメラを搭載し、リアルタイムに作業状況を映像提供します。

■特徴

- 13ブロックに分解ができ、空輸ができます。
- 分解・組立にかかる時間は、分解未対応型より4.5日短縮できます。
- 車載カメラで撮影した映像を見ながら、遠隔操縦ができます。



遠隔作業状況 (H23台風12号奈良県にて)



■仕様

- 車体寸法: 全長10.12 × 全幅2.99 × 全高3.17m
運転免許: 車両系建設機械 運転技能講習 (整地・運搬・積込み用及び掘削用)
操縦方法: 遠隔操縦および搭乗操縦
標準バケット容量: 1.0m³
登坂能力 % (度): 70 (35)
使用燃料: 軽油 (タンク容量 520L)

■主要装備品

- 遠隔操作装置: 特定小電力無線 実用距離 150m
カメラ装置: 特定小電力無線 カラーCCD 実用距離 150m



空輸状況 (H23台風12号奈良県にて)